

学科 学年	M2	科目 分類	プログラム演習 I Computer Programming	演習 選択	前期 1単位	学習教育 目標 2	担当	内田正章 UCHIDA Masaaki
概要	<p>高度に情報化の進展した現代社会では、業種／職種によらずICT(情報通信技術)の活用が必須であり、とりわけソフトウェアの比重が増大している。ソフトウェアを理解するためには、プログラミングの素養が不可欠である。</p> <p>本科目では、各分野で幅広く利用されているC言語を題材として、プログラム／プログラミングに関する基礎的な事項を習得することで、ICTに対する視野を拓げる。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>プログラム／プログラミングの基本的な事項を理解すること。初歩的な課題に対して、アルゴリズムを構築し、C言語プログラムを作成することで、解の取得に到達できること。</p>							
教科書 器材等	<p>新訂版 C言語標準テキスト、安藤明之著、工学図書</p>							
評価の基準と 方法	<p>2回の定期試験:60%、課題提出:40%。 60点以上を合格とする。なお、最終評価不合格の場合、全範囲を対象とする追試を実施し、課題提出と追試結果の合計が60点以上で合格(60点)とする。</p>							
関連科目	<p>情報処理基礎</p>							
<b>授業計画</b>								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		プログラムの概要、エディタの使用法、文字の出力						
第2回		プログラミングの手順、文字の入出力						
第3回		四則演算、実数の取扱い						
第4回		一定回数の繰返し、繰返しの判断、アルゴリズム						
第5回		プログラムの構造、条件の判断						
第6回		合計計算、データの集計と平均(1)						
第7回		データの集計と平均(2)、最大値・最小値						
第8回		復習						
第9回	×	中間試験						
第10回		試験の解説、配列の利用						
第11回		配列の探索						
第12回		ファイルの作成						
第13回		ファイルの利用と印刷						
第14回		関数						
第15回		復習						
第16回	×	期末試験						
第17回		試験の解説、総括、アンケート						
オフィスアワー	<p>授業後の休憩時間(学生に他の授業予定がなければ、継続延長も可)</p>							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	<p>20130318 新規</p>							